

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 6年 3月

事業所名

あしたも笑顔金町

回答 12名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	1	2	基準以上のスペースを確保している
	②	職員の配置数は適切である	8	2	2	児童発達支援管理責任者、児童指導員共に加配で適切に配置している
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	1	7	フロアに段差はあるが、床の色を変えることで判断できるようにしている。また児童によっては手つなぎで介助を行ない、それが原因でケガにつながったことははい
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	11	1		土日専勤務の職員への周知の強化をしたい
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	11	2		意向を職員間で周知し、改善につなげている
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	2	1	毎年公表している
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	3	5	現在行っていない
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9	1	2	年に2回実施している 今後は外部研修への参加回数を増やしていきたい
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9	2	1	年に一回アセスメントシートを配布し確認している
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	2	1	標準化されたアセスメントツールを使用している
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	2	2	事前に職員間で話し合い予定を立てている
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10	1	1	季節ごとにイベントを開催するなど工夫をしている
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	10	1	1	個々に応じて、平日と長期休暇時の活動内容を変更するなどしている
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	10	2		適切に作成している

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	9	1	2	事前ミーティングを行ない、それぞれの役割について確認している休日や長期休暇は書面などで確認できるようにしている
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	1	2	ミーティングで振り返りを行ない、全職員のグループLineで共有している
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10	2		個別支援計画に焦点を当てて記録している
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	10	1	1	記録支援に個別支援の項目を設置し、都度モニタリングを行なっている
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	9	2	2	行なっている
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	3	3	管理者・児童発達支援管理責任者が出席している
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	9	3		必要に応じて連携している
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	5	4	現在受け入れていない
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	3	6	今後は積極的に情報共有ができるよう検討していきたい
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	9	2	1	必要に応じて提供している
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	2	6	必要に応じて連携している
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3	2	7	今後交流会を設けられるよう検討する
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	4	3	5	今後は参加できるよう検討する
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	11	1		活動後の送迎時に、保護者と情報共有する時間を確保、共通理解に努めている

	⑳	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	3	3	保護者から相談があった場合、必要に応じて助言を行なっている
保護者への説明責任等	㉑	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10	2		契約時に契約書、重要事項説明書を用いて説明している
	㉒	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	3		年に一回個別面談を行なっている
	㉓	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	3	5	開催していない 今後はニーズの聞き取りを行ない、必要があれば開催を検討していきたい
	㉔	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9	3		苦情受付先を契約時に説明し、事業所内にも貼りだしている
	㉕	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	11	1		毎月写真付きの会報を発行している
	㉖	個人情報に十分注意している	11	1		個人情報の提供について、契約時に保護者に同意を得て取り扱いに注意している
	㉗	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10	2		個々に応じて配慮している
	㉘	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	2	7	現在は行なっていない
非常時等の対応	㉙	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	11		1	各マニュアルは事業所内に設置し、ホームページでも提示している
	㉚	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	12			毎月テーマを決めて実施している
	㉛	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	2	2	最低年1回は研修の機会を設け、適切な対応ができるようにしている
	㉜	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8	3	1	身体拘束適正委員会は最低年1回実施しているが、身体拘束を行なう対象利用者がいない

	⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	3	2	保護者への確認を毎年行っている 現在は該当者がいないが必要に応じて医師の指示に従う
	⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	12			事例、対応、改善策、再発防止をラインワークスに掲載し職員間で共有している

この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。